

【学習発表会】

11月12日(土)に、学習発表会を行いました。各学年が学習してきたことを、見ている人に伝わるよう、工夫して表現することができました。地域の皆様にも、多数学校に足を運んでいただき、子ども達のがんばりに盛大な拍手をいただきました。

昨年度から啓成小学校卒業の東山中学校3年生に合唱を発表してもらっています。心を一つにした、すばらしい歌声に、会場みんなが感動しました。啓成小の児童も「明日という日が」の合唱では、中学生と一緒に、気持ちよく歌うことができました。

観客の皆様と一緒に歌った「ふるさと」でも、会場が一つとなり、本当にすばらしいものでした。たくさんの方にご来校いただき、ありがとうございました。

【啓成コミュニティ】

毎月第2火曜日、啓成コミュニティの方々が小学校で活動されています。そのときに各学年の学習でお世話になることもあります。10月には5年生が家庭科でミシンの学習をしました。子どもたちは、はじめてのミシンでの作業で、どきどきしていました。しかし、2、3人にお1人ずつ付いて、ていねいに教えていただき、こどもたちの不安は解消。なんと2時間で、ナップザックが完成しました。その他にも、かけ算九九や国語の説明文を聞いて励ましてもらったり、戦争や七夕の話をしていただいたりしています。地域の方の温かい言葉かけやふれあいは、子どもたちにとって本当にうれしいものです。これからもよろしくお願い致します。

文化祭大成功

11月3日(木)・11月4日(金)に本校と米子市公会堂で第38回文化祭を開催しました。クラス合唱、3年学年合唱、全校合唱、展示(学年、学級、教科)、弁論、3年生のクラス劇などさまざまな催しを行いました。この文化祭を通して、各クラスのきずなが深まったり、さらなる課題も見つかりました。今後の活動に是非生かしていきたいと思えます。保護者をはじめ地域の方など、多数の方々にお越しいただきました。ありがとうございました。

合同防犯パトロール

11月18日(金)午後5時より、東山中学校区(東山中・啓成小・車尾小)の合同防犯パトロールを実施しました。

日が暮れるのも早くなり、不審者などにも十分注意が必要です。部活動の終了時間、完全下校の時間もそれに伴い早めています。完全下校の時間は1月末日まで午後5時15分にしています。地域の皆さまも児童・生徒の下校時刻に合わせ見守り活動をしていただくと助かります。

なお、登下校等何かお気づきのことなどありましたら、学校へご連絡ください。

人権弁論

今学期、1・2・3年生で人権弁論を行いました。この人権弁論での、「仲間に思いを伝えること」、「仲間の思いを受けとめること」、「仲間に思いを返していくこと」の経験は、仲間との繋がりを強くする重要な活動の一つだと考えています。仲間の大切さを改めて実感した人権弁論でした。

啓成校区の歴史散歩

亀尾八洲雄

米子の災害⑨

「勝田土手」は元禄十二年(一六九九)に築かれたといわれる説もあるが、日野川を転流させた大洪水は元禄十五年(一七〇二)であり疑問も残る。高さ三メートル・底面巾十メートル・上部六メートルのこの土手は、明治十九年の大洪水の後、堤防を約一メートル高くして大改修が成された。土手も一部は崩されて住宅が建てられたり低くして畑とされたり、勝田東の集会所が立てられたり、一部分は遊園地となつている。堤防の外は出水時の水を溜める「遊水池」とされ、ここにあった四軒の民家は米原に移され、その地は「勝田谷」といわれ、その家は「勝田屋敷」といわれ、ホンプタウンの近くにあった処刑場が遊水池の砂山に移された。

清水家の記録によると、明治元年(一七六四)の日野川洪水により車尾の貴布祢神社が流失して現位置に移されている。江戸時代の洪水は約四十回といわれるが詳細不明である。明治十八年二月、雪解け水の増水で日野川の豊田土手が決壊して、この為綿の収穫は例年の半分だったと云われる。明治十九年九月二十四日は朝から風雨が激しく、翌二十五日正午すぎまで吹き荒れて、榎原・兼久・福市などの堤防が決壊して全壊家屋二二六戸、浸水家屋二八〇戸、半壊家屋四〇〇戸、流出畑田三八一町八反、作物損害米約五四〇〇石、綿一三〇〇貫などの損害をだしている。又、この時、米子でコレラが流行し、九月二十七日から十月十三日の間に死者四二名、治療中一四名と報じている。

このコレラはまたたく間に郡部にも広がっていき乳幼児など体力の弱い者の死亡はひどいものであった。